



9月議会

山根とみえ議員の一般質問

日本共産党の山根とみえ議員は、9月議会の一般質問で、(1)野辺地域のミュキ組跡地住宅開発
(2)安心できる介護保険制度について質問しました。以下質問の要旨をお知らせします。

野辺地域

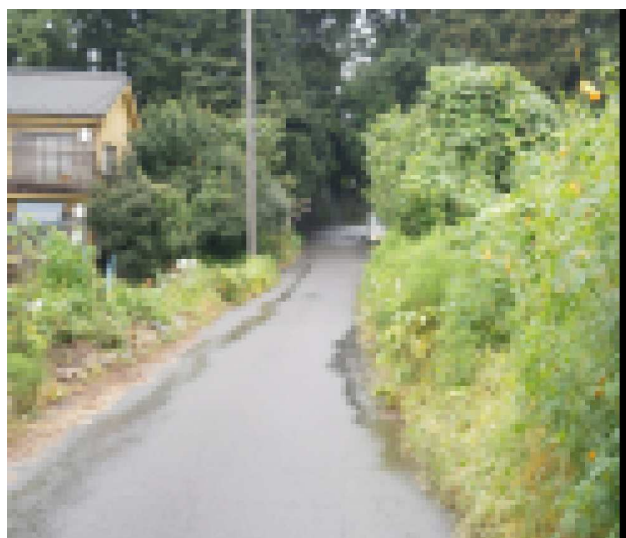
ミュキ組跡地住宅開発について

具体的な計画は怎么样了の？

住宅の規模など具体的な計画の内容についての質問に、市は、ミュキ組が所有していた、約4、2ヘクタールの敷地に住宅開発を行うとのことで事業者から相談を受けている。一定規模以上の開発行為に当たるため、都知事の許可が必要になり、事業者は東京都と協議することになる。規模や戸数についてはまだ聞いていない、今後、基盤整備と密接に関係するのであわせて協議していきたいと答弁しました。

道路の拡幅や下水道は誰が進めるの？

開発に当たっての必要な基盤整備は事業者の負担で行うと答弁。山根議員は例えば西側へ向かう道路と、北側へ向かう道路があるが、具体的にはどこまで事業者が行うことになるかと質問。市は、区域内、接続する道路は事業者が行うことが考えられる、今後事業者との話し合いの中で相談していきたいと答弁。山根議員は特に北側に向かう道路は狭いところが多くあり、住宅が増えることにより、学童や住民の利用など交通量が増えることも想定されることから、道路の拡幅などの対策をとるよう求めました。



開発予定地から北方面へ通じる道路

水害などの安全対策は？

水害など防災上の安全対策について市は、平成12年に発生した東海豪雨を想定した流域浸水予想図では、当該開発地の一部が浸水の予想される区域になっている。浸水を防除する排水対策については、事業者が東京都と十分協議した上で、開発区域の排水施設の整備を行うことになる。市としても都と連携しながら、安全安心のまちづくりに努めていくと答弁しました。

安心できる 介護保険制度を

要支援のサービスはどうなるの？

要支援の訪問・通所介護を市町村が実施する地域支援事業（総合事業）に移すことについて、その後どのような検討がされているか問いました。市は、現在先進自治体の視察や、市内の訪問介護・通所介護事業者から意見聴取など行っていると答弁。山根議員は地域支援事業への各自治体の実施状況について質問しました。全国では今年度中に114自治体で、うち今年4月からは78自治体、その他は29年度までに実施と答弁。ほとんどの自治体がまだ実施は未定とのことがわかります。サービスが必要な方がこれまで同様、ヘルパーなどの専門家によるサービスを受けられるよう今後も求めていきます。

低所得者の介護保険料を軽減して！

本年7月に市議団が行ったアンケート調査でも、介護保険料の軽減を求める声が多数寄せられています。山根議員はこうした声を紹介し、収入が少ない方の介護保険料を引き下げるよう求めました。市は、負担能力に応じた保険料を設定しているため引き下げを検討する予定はないと答弁。国は消費税10%の引き上げを予定している平成29年4月に、1段階から3段階までの方を対象に保険料の引き下げを実施する予定としているため、国の動向に合わせて適切に対応していくと答弁しました。

法律相談

11月19日(木) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。